

給水タイムについて

長野県高体連バレーボール専門部

今大会においては、高温多湿の環境でバレーボール競技を行うと発汗により水分が失われたり、体温上昇などにより、熱けいれん、熱疲労、熱射病などの「熱中症」に陥ることがあります。

熱中症予防の観点から、選手の健康管理を維持するために「給水タイム」を採用します。

【給水タイムの手順】

1. 各セットについて、リードするチームが13点目に達した際、30秒の給水タイムを自動的に適用する。フルセットの時は、コートチェンジのあとに適用する。
2. タイムアウトと同様に、副審がホイッスルで合図して給水タイムに入る。また、コートチェンジをしたあと、給水エリア（エンドライン後方）に選手がついたときにホイッスルで合図をして給水タイムに入る。30秒後に副審がホイッスルで終了の合図をする。
3. 給水タイムは、正規の試合中断の要求（タイムアウト・選手交代）やリベロリプレイスメントより優先される。上記を行う場合は、給水タイムのあとにその手続きを行う。
4. コート内の選手は、自チームのエンドライン後方で給水を行う。
5. 給水タイムは給水だけを目的としたものなので、コート内の選手だけで実施される。（ベンチ入りの生徒一人、給水ボトル等を運ぶ）
6. ベンチスタッフ・ベンチにいる選手との会話は認められない。
7. タイミングが遅れたときは、気づいた時点で給水タイムを適用する。